

参考として付する」とされており、計画図案はない。

③都市計画区域内にあるため、都市計画法に基づく開発計画の策定が必要である。今年6月に専門の総合計画コンサルタンツ会社と、近永アルコール工場跡地活用基本計画作成の委託契約を締結し、道路、上下水道などのインフラ整備から着手するよう検討中である。

#### 〈指定管理者制度について〉

指定管理者に対し、町の指導監督や住民との協力体制は整備されているか。

町長 鬼北町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例により、指定管理者に対しその管理の業務および経理状況について、定期的または必要に応じて業務報告書を聴取するとともに、実際に調査または必要な指示をすることができることにしている。指定管理者がこれらの指示に従わない場合は、指定を取り消すこともできるため、町の指導監督は十分におよぶものと思っている。

町民の協力体制についても、町が中心となって設立した法人などであり、信頼関係も培われているので、問題はないと思っている。

#### 指定管理者の情報公開について

指定管理者との協定書の提示は、議会からの要請があれば提示する。透明性の確保は、6月定例会議会で、町の情報公開条例を改正し、指定管理者についても町民の必要とする情報の提供に努めることと

している。

#### 松田 八重子 議員

#### 〈男女共同参画社会の推進について〉

男女共同参画計画の策定、推進条例の制定について。

町長 男女共同参画社会の実現は、個人の尊重と男女平等という基本的人権の保障の観点にとどまらず、少子高齢化の進展、国内経済活動の成熟化などの我が国の社会経済情勢の急速な変化に対応し、将来にわたって豊かで活力ある社会を構築するための、不可欠の条件としてその重要性を理解している。内部で検討を加え、早期の条例制定に努力したい。

#### 各審議会への女性の登用状況について

町長 本町の地方自治法第202条の3の規定に基づく、審議会などの女性の割合は、全体で17.9%、総務分野が19.2%、厚生文教分野が17.1%となっている。今後も積極的な女性の登用に努力したい。

#### 〈ゴミ問題について〉

#### 収集用ドラム缶設置見直しについて

町長 長期展望に立った場合、現在の収集方法が最善であると思われず、一層の分別の徹底とゴミの減量化を図るため、より効果的な収集方法に改める必要性を感じている。回収方法の変更にあたっては検討事項も多いため苦慮している。空き缶、空き瓶類の回収方

法は、鋭意検討していきたい。

#### ゴミ袋の改善について

町長 今年度分から成分を変更した。強度は同じであるが伸びが良くなった分、品質が悪くなったとの印象をもたれているものと思われる。来年度分については使いやすくなるため、もう少し強度の高いものに変更する必要性を感じている。関係市町と協議の上、対応したい。

#### 井上 博 議員

#### 〈町有地、公的施設の管理について〉

管理はどのようにされているか。

町長 町の財産で土地に関するものは、行政財産と普通財産に分けられており、一般会計と特別会計に分けて土地台帳を整備して管理している。

#### 町有地上に個人の家屋などがある場合の課税とその対応について

町長 適正な課税と財産管理を図るため、当事者と協議の上、財産の払い下げ、もしくは構築物の除去をすべきだと思っている。

#### 不要な町有財産の処分について

町長 現在把握している遊休の町有財産は、小学校跡地、保育所跡地など計8件の4,092㎡である。平成17年度は、3箇所の土地1,491㎡を3,703万7,913円で売却しており、今年度も2件の売却をするよう準備を進めている。

#### 〈町内公的施設の遊具などについて〉

安全管理および点検状況について。

町長 保育所の遊具は、専門業者による点検を年1回実施しているほか、毎月1回職員による点検を行い、異常がある場合には使用を停止し、必要に応じて交換や修繕、あるいは撤去などの措置を講じている。

保育所のプールは、循環式のプールではないため、遊泳中に排水口に吸い込まれるということはない。水抜き作業も、子どもたちがプールにいない時間帯に清掃を兼ねて実施している。

ひょうたんプールは、排水用の蓋が固定式になっていないため、今年度は接着剤で固定し、応急措置を行った。平成19年度の使用開始までに、固定式の二重蓋に改修する。

集会所内に設置してある遊具は、集会所と同様に地域住民の方々の協力により管理をさせていただいている。これらの遊具は、平成16年4月に一斉点検を実施し、内4箇所については修繕などの指導を行い、対応しているところである。今後も点検などの励行を指導していきたい。

教育委員長 町内8校の教育施設ならびに遊具などの管理は、各学校で毎日安全点検を行うとともに、定期的に教育委員会でも危険な遊具などを排除するため確認作業を行っている。

学校水泳プールは、問題となっている排水口蓋の固定金具の設置状況ならびに腐食状況を調査し、その都度対応をしている。これからも引き続き、日々の安全点検を実施し、児童・生徒が安心して学